

京都はなぜ1200年も続いてきたのか。

この謎に対する答えとして、

「盆地の都市だから」

と言ってしまうのは、

少し無謀に見えるかもしれませんが。

しかし、京都を盆地に育まれた計画都市として眺めると、

郊外に拡大していく平野のメガロポリスにはない空間感覚が

あるよつに感じられます。

それは水が巡ることを実感できる規模、

私たちの身の丈に合った都市のイメージを

与えてくれるからなのかもしれません。

京都は初めに計画ありきの都市でした。

地下には琵琶湖にも匹敵する

巨大な地下水盆がある、

そんなエピソードもまた、

京都の都市としての資質を

後押しするものに思えてきます。

盆地をつまぐ活用してきた都市・京都は、

1200年後の現代もなお、

持続可能な社会に求められる

可能性を示唆してくれるのです。

水の文化 14号 2003年8月

特集「京都の謎」

盆地都市と水の文化 米山俊直 2

カップが語る「京の水」カップ研究会 4

盆地京都を庭園都市と見立てる  
庭園は総合生活空間 白幡洋三郎 10

領域感覚からの発見は何を生み出すのだろうか

「何を見る」というよりは「どこから見る」 樋口忠彦 14

歴史人口学から見た京都

水と町衆が生み出す暮らしの勢い 浜野潔 19

第3回世界水フォーラム報告 編集部 24

水の文化 練習実践取材

第3回世界水フォーラム取材する「水つ子新聞」  
新聞発行から学ぶこころ言葉 編集部 28

盆地都市を想像する 編集部 34

くらしのまなざし 夏の京都水風景 松井恵 38

水の文化書誌 京都の水 古賀邦雄 40

インフォメーション 42